

- : プラザ催しなど
- ▲ : ボランティア・市民活動団体催しなど
- ▲ : 市民活動センターで行われる上記団体催し
- : ぼらぶら 休業日

日	曜日	催し物	
1	金	高齢者ボランティアポイント説明会	●
		朗読ボランティア養成講座	●
2	土	みきおもちゃ病院	▲
		パソコン定期相談	▲
3	日		
4	月	コミュニケーションマージャン体験会	▲
5	火	点訳ボランティア初級技術講習会	●
6	水	さくら草の会交流会	▲
7	木		
8	金	高齢者ボランティアポイント	●
		朗読ボランティア養成講座	●
9	土	育児ファミサポ救命救急講座	●
10	日	きらきら書道	▲
		認知症しあわせ計画 パート7	■
		BANBAN しゃべろう会	■
11	月	「Happiness ♪」公開練習	▲
		コミュニケーションマージャン体験会	▲
12	火	点訳初級講座	●
13	水		
14	木	託児ボランティア養成講座	●
15	金	高齢者ボランティアポイント説明会	●
		朗読ボランティア養成講座	●
16	土	みきおもちゃ病院	▲
		パソコン定期相談	▲
17	日		
18	月	コミュニケーションマージャン体験会	▲
19	火	点訳初級講座	●
20	水	さくら草の会交流会	▲
21	木	市民活動センター 休館日	
		高齢者ボランティアポイント説明会	●
22	金	朗読ボランティア養成講座	●
23	土	ふたつばクローバー (きょうだい会)	▲
24	日		
25	月	BANBAN しゃべろう会	■
		コミュニケーションマージャン体験会	▲
26	火	点訳初級講座	●
27	水		
28	木		
29	金	高齢者ボランティアポイント説明会	●
		朗読ボランティア養成講座	●
30	土		

協力会員募集中!

育児ファミサポ救急救命講座

主に小児・新生児を中心に、心肺蘇生法やAEDの使い方、応急手当の方法などを学びます。いざというとき、家族や周りにいた人がすぐに手当に動くことができれば、救命の可能性は高くなります。ファミサポ会員以外の方にも参加していただける講習会になっています。いざというときに備えるために、ぜひご参加ください。

- 日 時 : 令和4年9月9日(土) 9:00~11:30
- 場 所 : 三木市立市民活動センター
- 託 児 : あり(要予約)
- 申込先 : 三木市育児ファミリーサポートセンター ☎ 82-2395



9月は世界アルツハイマー月間!

現場第一線の認知症専門医が最新の情報を語る!! 認知症しあわせ計画 パート7

認知症基本法が成立し、アルツハイマー型認知症新薬「レカネマブ」への期待が高まっています。認知症になった人も、なった人を介護・支援する人も、不安のある人も、生き活きと自分らしい生活がおくれるようになる講座です。高齢者の5人に1人が認知症という時代がすぐそこに迫っているとされる今、何を知り、何を学び、何を備えるのか。一緒に考えてみませんか?

- 日 時 : 9月10日(日) 14:00~16:00
- 講 師 : 柿木 達也 氏
- 定 員 : 200名(要申込) ※当日参加可。但し先着順
- 会 場 : 緑が丘町公民館(1階・大会議室)
- 申込・問合せ先 : ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090

楽しくTea timeを過ごしませんか?

きょうだいかい ふたつばクローバー

障がいのあるごきょうだいをおもちの方のきょうだい会。同じようでも一人一人思いがちがうから...皆それぞれの気持ちを話しましょう。

- 日 時 : 9月23日(土) 17:00~18:30 奇数月第4土曜日
- 会 場 : 三木市立市民活動センター
- 参加費 : 100円/人
- 問合せ先 : ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090

マガジン

ボランティア・市民活動者のための活動応援情報

ボランティア・市民活動情報「マガジン」は、ボランティア活動プラザみきのホームページからでもご覧いただけます

(発行) 三木市社会福祉協議会
ボランティア活動プラザみき
〒673-0403
三木市末広 1-6-46
(市民活動センター内)
TEL 0794-83-0090
Fax 0794-82-6666
e-Mail mvsc@miki.or.jp



9月は高齢者保健福祉月間

人生100年時代といわれる現在、誰もが自分の役割を持ち、共に支えあいながらいきいきと暮らすことができる地域づくりが目指されています。これまで培ってこられた経験や知識を活かしてボランティア・市民活動をはじめませんか! ボランティア活動プラザみきは、あなたやあなたの周りのみなさんの“アクティブ”なシニアライフを応援しています!

若者の居場所づくり・自立支援活動

手打ちうどんが自慢の「なめらかフェ」の運営を通して、生きづらさを抱えた若者の居場所づくりや自立支援を行っています。

- 日時 毎週土曜日 9時~14時
- 場所 なめらかフェ (三木市本町 2-11-7)

送迎ボランティア活動

自力歩行が困難な方をリフト付き福祉車両を使って病院等の目的地まで送迎する活動です。自分の予定に合わせて活動できます!

- 日時 月~金曜日(祝日除く) 9時~16時
- 場所 三木市内及びその近隣

チャイルドシートのリサイクル活動

不要になったチャイルドシートの提供を受け、希望される市民に貸し出す活動を行います。チャイルドシートの取り付けで子どもの安心・安全をサポート!

- 日時 毎月第4土曜日 9時~11時
- 場所 三木市役所 北玄関

高齢者ボランティアポイント事業

デイサービスセンター等の施設でボランティア活動することで、ポイントがもらえます。自身の健康増進や介護予防として取り組んでみませんか?

- 対象 市内在住 65歳以上の方
- 内容 食事配膳、話し相手、清掃など

活動に参加したい!

もっと詳しく知りたい!

ボランティア活動プラザみき(☎ 83-0090)までお気軽にお問合せください!!

ボラ・プラみきの
アクション・レポート
(43)
～市民のチカラ～

災害時にも強い支え合う地域をめざして

～支えあい協働会議で災害に備える 志染・別所・細川・三木南地区の取組～

◆ 支えあい協働会議って？

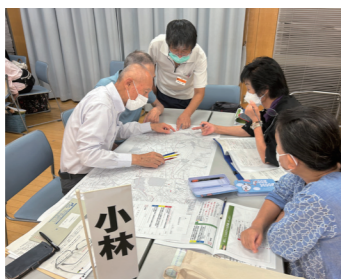
支えあい協働会議とは、区長、民生委員・児童委員、民生協力委員、地域内活動者など、日常から住民の暮らしや生活の様子を気にかけたり、地域での見守りあい等の取り組みを展開する活動者が活動を通して把握した個別の困りごとなどを共有し、みんなの課題として対応を話し合ったり考えたりする場のことです。

過去の災害から私たちは、いざという時に互いの命を守り合うには地域の子カラが必要不可欠であることを学びました。志染・別所・細川・三木南地区では、誰もが「我が事」となる「災害」をテーマに、台風や長雨による風水害を警戒した避難支援や発災直後の初動体制について話し合うことを目的に毎年開催されています。

◆ 情報の共有「支えあいマップ」

今回の支えあい協働会議では、自主防災組織が設置されている自治会ごとに分かれ、災害の発災前後に避難支援が必要と思われる方が地域にどれくらいいて、どのような支援が必要なのかについて、区長さんをはじめ参集した地域の活動者同士で情報共有を行いました。

共有方法のひとつとして支えあいマップづくりがあります。「支えあいマップ」とは、いざという時に避難支援が必要な方がどこにどのような状態で暮らしているのか、どこに何があるのかを把握し、発災前後のみならず、日常の見守りにも役立つためのものです。地図に災害時に自力で避難が難しい方や情報が入りにくい方がいらっしゃる世帯に印をつけて情報を落とし込みながら共有します。



小林

「あそこの家はおばあちゃんの一人暮らしだな」や、「若い夫婦も一緒に住んでいるが昼間はおじいちゃんが1人かな」など、日頃の近所付き合いや目視で把握している情報を思い出しながら共有します。川やため池が近くにある世帯は、水害の危険性が高くなるため、ハザードマップと合わせながら、避難支援の優先順位についても考えます。

空き家が増えていることが印象的で、避難ルートを考えるにあたり、災害時の老朽化した家屋倒壊の危険性が気になります。災害時の初動体制を考える機会をきっかけに、空き家についてもさまざまな意見が寄せられていました。その中の1つに、外国から就労を目的に移り住まれるケース

が増加している話題がありました。日頃の付き合いも少なく、近所に住んでいる人たちには「外国人が住んでいる」ということは分かるけれども、人数や年齢、性別など詳しい情報がなく、災害時に情報を届ける必要があると考えるがコミュニケーションに不安がある…と心配されている地域もありました。

支えあいマップを完成させることだけが目的ではなく、変わりゆく地域の状況を住民同士で分かりあうことこそが大事であり、日頃のつながり合いが安全・安心につながっていくのだと感じました。

◆ 誰もが当事者となる災害時への備え

今年も全国各地で水害や土砂災害などの被害が相次いでいます。数時間かけて同じ場所を通過または停滞し、強く局地的な大雨をもたらす「線状降水帯」の発生も多く見られます。

万が一、災害が起こった時、生命の危機が迫る72時間以内の救助・救出が大事と言われています。外部救援は時間を要し、公助には数に限りがあることから、地域での助け合いが何よりも重要です。災害は、誰もが当事者となりうることから、作成した支えあいマップを有効に活用し、多くの住民で地域防災について学んだり、考えたりする機会を設け、支援の輪を拡げる備えが必要と考えます。



助成金情報

助成金等名称 〔申請等期日・期間〕	助成内容	問合せ・申込先
公益財団法人 大和証券財団 2023年度 ボランティア活動助成 〔申込締切〕 9月15日(金)	〔助成対象〕 高齢者・障がい児者・子どもへの支援活動および社会的意義の高いボランティア活動や、地震・豪雨等による大規模自然災害の被災者支援活動に対する助成を行う 〔応募資格〕 5名以上で活動する営利を目的としない任意団体、NPO法人、財団法人、社団法人、大学のボランティアサークル等 〔補助金額〕 1団体あたり上限30万円	公益財団法人 大和証券財団 事務局 〒104-0031 東京都中央区京橋 1-2-1 大和八重州ビル ☎ 03-5555-4640 ✉ zaidan@daiwa.co.jp
公益財団法人 大和証券財団 2023年度 子ども支援活動助成 〔申込締切〕 9月15日(金)	〔助成対象〕 子どもたちに夢と笑顔を、そして輝く未来につなぐ支援活動に対する助成を行う 居場所づくり、学習支援、貧困家庭の子ども支援、育児放棄や子どもの虐待防止活動 〔応募資格〕 20名以上で活動する営利を目的としない任意団体、NPO法人、財団法人、社団法人、大学のボランティアサークル等 〔補助金額〕 1団体あたり上限50万円	募集要綱・申込書は、大和証券財団ホームページからダウンロードできます。 https://www.daiwa-grp.jp/dsz/grant/

9月よりボランティア・市民活動講座が目白押し! 詳しくはホームページをご覧ください。

託児ボランティア養成講座

朗読ボランティア養成講座

点訳ボランティア初級技術講習会

ほか



VO1.3 日頃の活動に取り入れられる情報をお届けします!

活動者さん必見! お役立ち情報

ライン
LINE
を活用してみよう!

最近では、情報発信や共有の手段としてさまざまな「SNS」が活用されています。今回は、連絡手段のひとつとして身近に活用されている「LINE」の「グループトーク」機能をつかった情報共有についてご紹介します!

※ SNS について知りたい方は、7月号のお役立ち情報をご覧ください。

LINEのグループトークを活用している/ GO・5ふれあいサロングループさんに聞きました!

Q1.

はじめたきっかけは?

◆ ボランティアメンバーの人数が多くなったことから、全員に連絡・報告が円滑に行えるようにとはじめました。

Q2.

活用してよかったことは?

◆ 打合せ後の決定事項をグループトークで共有することで、内容の再確認や欠席者との情報共有ができる。
◆ 例会前までに知らせたいタイムリーな情報をすぐに共有することができる。

Q3.

これからはじめる人へひとこと!

◆ メンバー全員に連絡や報告ができてとても便利ですが、LINEを活用して感想や想いを伝える場合には十分注意が必要だと思います。

グループトークのデメリット

◆ 読む人によって文章の解釈が異なる場合がある…
◆ スマホ操作が苦手な人はトークに参加しづらい…
◆ 連絡に気がつかない可能性がある…

話し合いや相談ごとには向いていないので、取り入れる場面に注意が必要!

ボランティアグループ (6)

サロンのことで話し合いたんだけど、みんな予定どうかな?

Aさん

〇月〇日はどうかな?

Bさん

私は予定空いてるよー!

Cさん

じゃあ、その日にしよう!

Aさん

+ ☺
↑グループトーク画面のイメージ

今回は、活動に必要な資金の獲得に関する情報をご紹介します!